

長原幸夫 × ケヴィン・スー

【 ザ・ニブ・シェイパー 】

【 ペンラックス取締役社長 】



PROFILE

ながはら ゆきお
ペン先調整師。大手万年筆メーカーで約20年間、ペン先職人として勤務。2020年に独立し、ザ・ニブ・シェイパーとして活動。小太刀など多様なペン先を考案する。父の宣義さんは、長刀研ぎを現代に復活させた人物。

PROFILE

ケヴィン・スー
ペンラックスの創業者。米国の筆記具ブランドなどで経験を積んだ後、2000年に筆記具の製造を受託する会社として創業。長年培った筆記具製造の知識と技術を生かし、2015年から自社ブランド製品の販売を開始した。

て持ち歩くことの多かった小太刀という名称にしています。
スー 漢字のトメ、ハネ、ハライが書きやすいという点では長刀と共通していますが、長刀にはないFとニードルの字幅があるのが小太刀の特徴ですね。
長原 先日、台南のペンショーに行きまして、台湾で使われる漢字は日本の常用漢字より画数が多いように感じました。それでペン先を立てて使う方がいたのですが、極細で漢字が書きやすい小太刀のニードルは使いやすさとの評価をいただきました。

最高のパートナーと、ブランドの新たな地平へ

スー 今回日本でも全国的に発売されるので、どのように評価されるか楽しみにしています。日本は品質からデザインまでこだわる方が多く、世界で最も厳しい市場。だからこそ、今作が受け入れられれば大きな自信になります。第3弾、第4弾への期待も膨らんでいます。
長原 万年筆という道具のおもしろさに気付き、楽しんでほしいというのが私の信条。ペンラックスの美しい軸を纏ったこのペンを、ぜひ皆様に使っていただきたいと思っています。

ペンラックスと長原ペン先夢の邂逅が実現
スー 私は長原さんのお父様がご存命だった頃、都内の万年筆イベントに伺ったことがありました。そこで長原さん親子のペン先に魅了されました。世界一のペン先職人にぜひお願いしたいと思い、コラボが実現しました。
長原 自分の名前が刻印された万年筆はペンラックスとのコラボが初めてでした。それもすごく魅力的なアクリル軸で。今回第2弾、しかも小太刀ニブで

出せるのが大変嬉しいのです。
スー 第1弾は米国市場をメインターゲットにしていたので、署名に使いやすいイタリックニブをお願いしました。今回は日本や香港、台湾のユーザーの方にも使いやすいモデルということで小太刀にしています。
長原 小太刀というのは万年筆をより身近に使うってほしいという想いから名付けたペン先です。父は長刀で有名ですが、長刀は家で飾りとして尊ばれることが多い。でも万年筆を使う楽しさを感じてほしいので、懐に入れ



コラボレーション第1弾
「デルガド シリーズ グラディウス 青の洞窟」

ブルーの鮮やかなレジン板を何層も重ねて製作した、長原さんとのコラボ第1弾。搭載しているイタリックペン先は、角をわずかに丸くすることで、字幅を変えずになめらかな筆記を実現。※完売品。



PENLUX

夢のコラボレーション第2弾

3種の小太刀ニブ搭載モデルが登場!

台湾の筆記具ブランド、ペンラックスとザ・ニブ・シェイパーとして活動する長原幸夫さん。そんな万年筆界のエキスパートがタッグを組む、特別モデル第2弾が登場した。ペンラックスらしい美しいデザインと長原さんが開発した小太刀の華麗なる融合をご覧ください。



キャプリングに型押しした刻印は、小太刀ニブを使った時の筆跡をイメージして作成。重厚感ある色合いに華を添えている。



「PENLUX × NAGAHARA」の刻印をマーブル模様の胴軸にあしらっている。コラボモデルならではの特別な仕様だ。

「NAGAHARA」と「PENLUX」の刻印がペン先にある。波型の模様の刻印は、万年筆による線画をモチーフとしている。

マスターピース コダチ

小太刀ニブ搭載の今作は、第1弾でベースとした「デルガド」シリーズよりも胴軸が細い、コラボモデル独自の設計。アクリル軸は中が透けない工夫を凝らし、色味に重厚感を与えた。ペン先は金とスチールから選べる。

万年筆：収納時約150mm・本体約128mm・胴軸径約13.5mm・重量約27.6g・吸入式・18金ペン先ニードル、F、M（スチールペン先はニードル、F、M）・税込165,000円（スチールペン先は税込77,000円）



グリーンベルベット
ブラックベルベット



小太刀

18金ペン先M



小太刀

18金ペン先F



小太刀

18金ペン先ニードル



小太刀ニブの字幅3種

ニードルは極細の字が書ける字幅。いずれもトメ、ハネ、ハライが書きやすい設計だ。すべて字幅Bから研ぎ出すので、字幅の刻印はどれもBになっている。